

# 障害福祉サービス等DX推進人材育成支援事業



障害福祉の現場におけるDXを推進する職員に対し、事業者が手当の支給などの支援を実施した場合に、事業者に対し、最大**100万円**を補助します!!

## 障害福祉サービス等DX推進人材とは？

障害福祉サービス等DX推進人材（以下「DX推進人材」という。）とは、法人内の各事業所においてデジタル機器や次世代介護機器等の導入・効果的な活用に取り組み、障害福祉現場における生産性向上をけん引するリーダー職員です。※ 利用者に直接障害福祉サービスを提供する職員のほか、法人の事務職員等も対象です。

## 補助金詳細

補助対象経費：(1)DX推進人材への手当等に係る経費

(2)DX推進人材の研修費・資格取得費

(3)DX推進人材が研修期間に不在となる際の、代替職員雇用費

補助対象者：交付申請時において、障害福祉サービス等  
を提供する都内の施設・事業所を設置する民間の事業者。

補助基準額：1名あたり50万円（1法人あたり2名まで）

補助率：10/10

※申請開始から起算して最長3年度申請可能

（例：令和8年度申請開始→令和10年度まで申請可）

令和8年度スケジュール（予定） ※ 詳細は確定次第、別途お知らせいたします。

手続き等	時期
交付申請書の提出	令和8年7～8月頃

# 障害者支援施設等におけるデジタル技術等活用支援事業

## ①障害者支援施設等デジタル技術活用支援事業

令和7年度から対象施設を拡充しました！

【対象経費】 ① デジタル機器（見守り支援機器、情報共有機器、通信環境整備）

※上記を一体的に整備していることが要件です。

② ロボット介護機器（移乗支援機器、移動支援機器、排泄支援機器、入浴支援機器、コミュニケーションロボット等）

③ 機器選定等に係るアドバイザー費用

【対象施設】 障害者支援施設、障害児入所施設（福祉型・医療型）、共同生活援助(GH)、短期入所、訪問系サービス

【補助基準額】 サービス種別・施設規模により設定 ※詳細は、別途お知らせします。



## ②デジタル技術を活用した障害福祉サービス事業所等支援事業

令和7年度から対象施設・補助基準額を拡充しました！

【対象経費】 ① 福祉・介護業務支援システム経費（ソフトウェアやクラウドサービスの購入費、保守・サポート費、導入経費等）

② タブレット端末・スマートフォン等のハードウェア（購入費、保守・サポート費、導入設定費 等）

③ システムの選定やシステムを活用した業務改善に関するコンサルティング経費

【対象施設】 すべての障害福祉サービス事業所・施設

【補助基準額】 ①② 職員数に応じて設定 ③ 100万円



**令和8年度から、上記2事業で対象となる機器を両方導入する場合に対応した「パッケージ型」の補助単価を新設します**  
・対象サービス … 障害者入所施設、共同生活援助、障害児入所施設(医療型、福祉型)、短期入所、訪問系サービス

# 障害者支援施設等におけるデジタル技術等活用支援事業

(参考)障害者支援施設等デジタル技術活用支援事業補助基準額(例)

障害者支援施設	定員	補助基準額
ロボット介護機器	20人以下	2,000,000
	21人以上40人以下	3,000,000
	41人以上60人以下	5,000,000
	61人以上	6,000,000
共同生活援助事業所	定員	補助基準額
ロボット介護機器	一律	1,500,000

(参考)デジタル技術を活用した障害福祉サービス事業所等支援事業補助基準額

定員	基準額	定員	基準額
1～10人	1,334,000	51～70人	4,267,000
11～20人	2,134,000	71～90人	5,067,000
21～30人	2,667,000	91～110人	5,867,000
31～50人	3,467,000	111人	6,667,000

(参考)パッケージ型補助基準額

対象機器の例	対象サービス	補助基準額
ロボット介護機器 + 福祉・介護業務支援システム	障害者入所施設、共同生活援助、障害児入所施設(医療型、福祉型)、短期入所、訪問系サービス	10,000,000 (新設)

令和8年度スケジュール(予定) ※ 詳細は確定次第、別途お知らせいたします。

手続き等	時期
交付申請書の提出	年2回(令和8年夏及び秋頃)を予定しています。